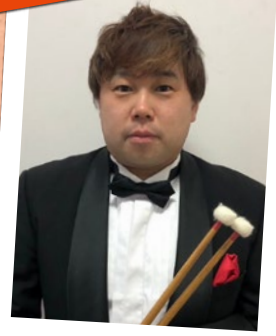


# オオサカン楽員の 楽器の小部屋～オオサカンサウンドの源～

楽員と楽器の関係を探る連載企画、第6弾は \\ 打楽器奏者 中村 成範! //  
楽器へのこだわりや大事にしていることを伺います。

打楽器  
中村 成範 Shigenori Nakamura



メインで担当している楽器で、  
使用しているものは？



使用楽器：ティンパニ Pearl(パール)88H  
※組曲「惑星」仕様の配置

この楽器のこだわりポイントは？

ティンパニは基本的に32インチ・29インチ・26インチ・23インチの4つを並べ、それぞれ音域によって楽器の大きさを決め、どの音程をどの楽器に振り分けるかを自分で決めていきます(楽譜に指定されている場合もあります。)但し、音域によってはあまり良い響きの音にならない場合があるため、出来る限りベストな音が出るようにどのインチを使うか毎回試行錯誤しています。また、曲中で音域的に29インチを2つ使用したい場面が多かったために、自分でもオオサカンのティンパニと同じ88Hの29インチをひとつ購入しました。29インチのティンパニは、通常だと音程を確認するゲージが右側についているのですが、楽器を並べる都合上、左側にゲージをつけてもらうようカスタマイズしてあります。最近では26インチを2台にしたいと思う時があり、次に購入するなら26インチのティンパニかなと密かに考え中ですが、「保管する場所がどこにあるんですか!!」とみんなに怒られる気がします。(打楽器は種類がたくさんあり、場所も取るので保管するのにスペースがたくさん必要です。オオサカンの楽器庫はいつも打楽器でいっぱいです。)指導校などではPearlの85Hをよく見かけますが、個人的には88Hのペダルの方が使いやすいと思っています。



ゲージ

お気に入りの楽器について、  
楽器を選ぶ際のポイントも  
合わせて教えてください。

## ◆タンバリン



皮の材質や、ジングル(周りに付いている金属の丸い板)の材質、ジングルの数・取付位置によって音色が大きく変わります。基本的にはBlack Swamp(ブラックスワンプ)を使用していますが、それよりも軽い音が鳴らしたい時はJPC(ジェーピーシー)、ゴージャスな音が鳴らしたい時はGROVER(グローバー)など、メーカーによってさまざまな特徴があるので、演奏曲によって使い分けます。学生の頃、知り合いの先生が演奏会で使用されていたタンバリンの音色に惚れて数年後買おうと思ったのですが、すでにそのタンバリンは手に入らないものになっていました。もう後悔しないように、良いと思ったものはその時に購入するよう心掛けています。

## ◆トライアングル



大きさや材質によって音色や音程が変わり、さらに叩くピーター(棒)によっても大きく変わってきます。海外メーカーの楽器は現地で購入の方が安い場合が多いので、ミッドウエスト・クリニック(アメリカ・シカゴ)へ行った際にも購入しました。今、一番のお気に入りはBlack Swampです。でも、それまで大好きだったSABIAN(セイビアン)もまだまだ捨てがたいです。

お気に入りのマレットや、こだわりポイントは？

ティンパニのマレットで一番のお気に入りは、Kaufmann(カウフマン)の104(フランチネル)です。このマレットでほとんどの曲を叩いていると言っても過言ではないほど多用しています。そして、常に同じ品番のマレットを何セットか使い分けて育てています。マレットは、使っていくと擦り切れて小さく固くなり、購入した当初と違う音になっていくので、予備のマレットは常に用意しています。

そしてCleveland(クリーブランド)のマレットもよく使っています。以前はVIC FIRTH(ヴィック・ファース)のマレットをよく使っていたのですが、正指揮者の松尾さんに離れて聴いてもらった時に、「ClevelandはVIC FIRTHよりもクリアに聴こえる。Clevelandの方が良い!」と言われ、それからよく使う様になりました。自分にとって柄が太すぎたり、重すぎたり軽すぎたりして、使いにくいものがあったりしますが、音が良いので仲良く付き合うようにしています。



楽器の収納スペースは？

数年かけて只今整理中です。少し整理ができ片付いたとなると、楽器やマレットが増えてくるので、またやり直したり置き場を変えたりとなかなか思う様にはいきません。とはいえ、新しいものを買っているのは自分なので自分が悪いのですが(笑)

本当は楽器を置いている部屋全体を撮りたかったのですが、棚が足りずまだ足元に並んでいるものがあるので、いつの日か完成をご覧に入れたいと思います。と言いつつ、そんな日が来るかはわかりません(笑)



あなたにとって「打楽器」とは？

幼稚園の年長でピアノを始め(ほとんど弾けませんが…)、小学校では音楽クラブに入り、中学校で吹奏楽部(トランペット)に入部、打楽器は高校から始めたのですが、自分の人生の中で唯一継続して続けられているものが打楽器です。中学時代の国語の先生がいつも仰っておられ、先生が異動される前に筆ペンでノートに書いてもらったメッセージでもある「継続は力なり」を実行できているものが自分にとっては音楽であり、打楽器です。

楽器を演奏する時に大事にしていることは？

謙虚さと素直さです。音楽大学に行く前、一般大学に通っていた際に受けていたゼミの先生が「スポーツマンに必要なものは、謙虚さと素直さとユーモアだ」と仰っておられて、「音楽も一緒だな」と思い、その言葉を忘れない様にはしています。残念ながら僕にはユーモアの欠片もないので、「謙虚さと素直さ」としています。

